

水産物来週の見通し（7/4～7/9）

【鮮魚の概要】

高級はブリが増加傾向にある。
近海は時鮭が増加しており、つぶは減少傾向にある。
大口はイワシが道東で増加、スルメイカは安定傾向。

【主要品目】

鮮マグロ ⇒養殖本マグロ主体の入荷だが、メバチは輸入、国産は少々入荷予定。宮城県塩釜産、鳥取県境港産巻網天然本マグロ 100k 前後の入荷予定あり。

ホタテ ⇒オホーツク中心の水揚げになり水揚げ量は少ない。海外向けの引き合いが強く、相当な高値予想。

ホッキ ⇒7月中旬まで禁漁のため、高値予想。入荷少なめ。

ウニ ⇒北海道産の入荷もあり、価格は安定傾向。

貝ツブ ⇒厚岸Aつぶ、岡つぶ、根室は少量で、価格高め。

キンキ ⇒斜里、羅臼、根室は中国のロックダウンが解け始め上げ傾向。日高襟裳は横ばい。

ヒラメ ⇒日本海方面、水揚げ、値段ともに横ばい。

毛ガニ ⇒噴火湾産の入荷はあるが減少傾向。相場は横ばい。

カレイ ⇒マガレイはオホーツク中心で、水揚げ少なめ、価格は不安定。黒ガレイは道東、オホーツクでの水揚げ。水揚げ不安定、価格は上げ傾向。

いか ⇒マイカは恵曇、特牛、山形、青森、福岡、新潟、金沢、北海道他水揚げで 17000～27000 ケースほど。価格は道内上げ傾向、道外は下げ傾向。

アサリ ⇒厚岸中心。内地への引き合いはあるが価格は安定傾向。

エビ ⇒ぼたんえびは水揚げ減少、浜高のため入荷少なめ。礼文島産が少量入荷。南蛮えびも水揚げ減少傾向、冷凍相場のため浜高傾向。入荷少なめ。